

令和4年度 事業報告書

目 次

本部事業	1
保健事業	2
調理事業	3
指定生活介護事業所あゆみ	4
指定生活介護事業所すてっぷ	5
指定就労継続支援B型事業所めぐみ	7
指定短期入所事業所あゆみ	9
指定居宅介護等事業所さんぼ道	10
指定共同生活援助事業所ホームみどり	11
指定共同生活援助事業所ホームおれっち	12
指定特定・一般・障害児相談支援事業所ぴあん	13
指定放課後等デイサービス事業所かぜのこ・ 児童発達支援事業所ふわり	14
日中一時支援事業所あゆみ	16

本部事業報告

はじめに

令和4年度のあゆみ園の事業運営につきましては、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、感染予防を目的に納涼祭などの行事は事業所単位で利用者と職員のみで開催し、日帰旅行や一泊旅行なども中止しました。また、毎月の保護者会の開催も中止となり、保護者面会も制限させていただくなど、利用者・保護者にとっては何かと制限の多い一年となりました。そのような中、利用者の重度・高齢化に伴う退所と新型コロナの影響で新規利用も進まないことから、利用者の減少が続き令和4年度の収支決算は3年連続の赤字（マイナス）となりました。

このため、今後の経営改善と安定的な経営に向けた中期計画の策定を進めることとし、令和4年度は独立行政法人福祉医療機構に経営診断を依頼しました。その結果、サービス収入の増と人件費の伸びのバランスが合っていないこと、他法人と比べ職員数が多くや賃金水準も高いことなどが、経営悪化の要因と指摘されました。また、人件費以外の事務費や事業費などの比率は他法人と比較し低く抑えられており、施設整備に伴う借入金も法人規模から過大でなく概ね良好との結果でした。

1、管理運営体制

令和4年度は評議員会を1回、理事会を6回、監事監査を1回開催しました。また、理事会前に経営会議を開催し、理事会等に提案する議案について検討しました。

監事監査	5月27日（金）	令和3年度決算監査
第1回理事会	6月7日（火）	令和3年度決算及び事業報告他
定時評議員会	6月24日（金）	令和3年度決算及び事業報告他
第2回理事会	9月22日（木）	職員給与規程・準職員就業規則の改正他
第3回理事会	11月30日（水）	令和4年度上半期収支計算報告他
第4回理事会	12月21日（木）	経営分析の結果報告他
第5回理事会	2月16日（木）	職員・準職員就業規則の改正他
第6回理事会	3月29日（水）	令和5年度予算及び事業計画他

2、経営分析の結果

決算状況等からの経営分析の結果は、収入は増えているものの、これを上回る支出の増加が収益を圧迫し、2020年から3ヶ年連続の赤字決算となっています。全国と同規模法人と比較すると、収入に対する人件費比率が高く、職員数・給与水準（正職員比率を含む）がともに高い傾向にあること、利用者が定員に満たない事業所があることなどが課題として指摘されました。この原因としては、新型コロナによるサービス利用の手控えと、処遇改善手当等の法人負担が大きいことが考えられます。その改善策としては、利用者増などのサービス利用を増やすことと処遇改善手当を中心にした人件費の見直しに取り組みます。

3、公益活動

社会福祉法人改革に伴い社会福祉法人は、地域における公益的な取組を実施することが求められています。あゆみ園では、栃木県内の社会福祉法人で構成される地域における公益的な取組推進協議会が主催する「いちごハートネット事業」に参加し、地域における様々な福祉課題に対する相談窓口を設置しています。また、栃木市が行っている「くらしだいじネット事業」にも参加し、障害者等の重度・高齢化、親なき後等に備えた緊急支援体制の一端を担っています。災害時の活動としては、大規模災害時における広域支援を行う栃木県災害福祉支援チームに職員2名を登録し、県の要請に応じて職員を派遣できる体制を整えています。

保健事業報告

はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、利用者・職員の健康管理や感染の予防に努めました。一時帰省、救急法講習会は中止し、予防接種や検診は感染対策をして実施することができました。11月下旬から12月初旬にかけ複数の事業所で新型コロナウイルスの感染がありましたが、各事業所で感染拡大防止に努めた結果、クラスター発生までは至らず収束しました。

また、ワクチン接種については利用者・家族・職員等へ説明し、法人全体では約9割が5回目の接種を終了しています。グループホームの利用者については、3月までに5回目接種がすべて終了しました。ワクチンによる副反応については、発熱、倦怠感、接種部位の疼痛など、個人差はありましたが数日で回復しています。

- ・ 嘱託医による巡回相談
- ・ ホームみどり・あゆみ・すてっぷ・日中・短期利用者の薬の準備と確認
- ・ 発熱・怪我等による緊急通院や医療的処置などの看護業務
- ・ 利用者の用具補助申請
- ・ 他機関や相談支援専門員、生活支援員等との連絡相談
- ・ 職員の生活習慣病健診の実施
- ・ 新型コロナウイルスの予防マニュアル、対応指針による職員指導

健康管理について（結果）

時 期	項 目	対 象			合 計 備 考
		グループ ホーム	日中活動 事業所	職 員	
毎月	体重・血圧測定		42名		42名
	嘱託医巡回相談		42名		42名
7月	救急法講習			中止	資料配布
8月	コロナワクチン接種	26名			26名
10/14	生活習慣病健診	24名			24名
10/14	結核検診		30名		30名
10月～11月	生活習慣病健診			79名	
11/18	インフルエンザ予防接種	25名	31名	52名	108名
3月	コロナワクチン接種	25名			25名
毎日	体温測定				
5.8.12月	帰省時健康チェック	中止			

調理事業報告

はじめに

令和4年度の調理事業については、次のとおりです。

- ① あゆみ 昼食を提供(食堂にて)
- ② すてっぷ 昼食を提供(料理をすてっぷに配達し支援員と配膳、食器洗浄)
- ③ めぐみ 昼食を提供(料理をめぐみに配達し支援員と配膳、配食器具洗浄)
- ④ ホームみどり 朝夕食、休日昼食・3時の手作りおやつを提供、季節に応じた特別メニューを提供
- ⑤ 短期入所、日中一時 朝昼夕食を提供(食堂にて)
- ⑥ 職員 朝夕食を提供(当直勤務の職員のみ)

献立は業務用献立配達業者「タイヘイ株式会社」に部分委託

< 概ね達成できたもの >

1、誕生月の利用者に嗜好調査を行い、希望メニューを月に2回提供することで、利用者の嗜好に添えるものを提供することができました。

※栄養面での偏りを考慮し、カルシウム・タンパク質・鉄分・ビタミン類を補えるようメニューに組み入れ提供しました。

2、栄養改善について

(1) ホームみどり上記1※について栄養価月報を作成し栄養の改善に努めました。

(2) 朝食のみあゆみ献立で提供し、栄養価月報を見直し改善に努めました。

(3) 給食施設における栄養、給食管理等の状況把握の為に、給食実施報告書を年2回

(5月・11月) 県南健康福祉センターに提出し、給食喫食者の栄養の改善及び健康の保持増進を図り、栄養管理に努めました。

3、衛生管理について

(1) 害虫駆除 5月、11月に実施

(2) 検便検査を毎月実施

(3) 自主衛生管理(HACCP)に沿った衛生管理の徹底(給食日誌・個人衛生チェック表・食品衛生チェックリスト・検食簿・環境衛生)に努めました。

(4) 原材料受け入れ時の交差、二次汚染防止に努めました。

(5) 配膳前後、感染症防止のため都度の消毒を実施し感染症対策に努めました。

4、災害時非常食対応 各事業所に提供できる体制を整えました。

5、ホームみどりの休日の3時に手作りおやつを提供しました。

指定生活介護事業所あゆみ事業報告

はじめに

令和4年度は、家族の意向や利用者が逝去されたことによる退所がありました。他方、利用日数を増やしていただいた利用者もいらっしゃいました。また、新型コロナウイルス感染症予防のため、一時的な事業休止や自粛を止むを得ずお願いすることもあり、利用減少に繋がることもありました。しかし、在宅支援という形で支援を提供することが出来ましたので、大きな利用減少にはなりませんでした。なお、施設利用や見学の希望者はいましたが、感染症予防の観点から十分な対応ができず、利用には至りませんでした。

1、利用実績

定 員 20名
 契約利用者 19～20名（内 週3日利用者 3名、週1日利用者 1名）
 月別契約利用者 20名（4・5月）
 19名（6・7・8・9・10・11・12・1・2・3月）

（利用状況）

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	22	22	21	22	22	22	20	22	22	20	23	260
1日平均利用者数	16.3	16.4	16.0	15.2	15.5	15.5	15.0	14.6	14.8	15.2	14.0	15.2	15.4

（事業実施状況）

事業	実施日	参加人数	事業	実施日	参加人数
七夕会	7月7日	全員	クリスマス会	12月15日	全員
			もちつき会	12月28日	
あゆみ夏まつり 十五夜会	8月24日	全員	あゆみ新年会	1月25日	全員
	9月7日				
あゆみ運動会	10月24日 10月27日	全員	節分会	2月3日	全員

2、概ね達成できたもの

- ・散歩の機会の提供と共に、新たな散歩ルートを確保し気分転換を図るなど、個々の体力や情緒に合わせて提供することができました。
- ・作業活動は生産性だけを重視するのではなく、利用者の気持ちに寄り添うことに配慮しながら取り組みました。
- ・検温、マスクの着用、施設内及び送迎車の消毒、定期的な換気、飛沫防止ボードの設置など感染症予防を徹底し、安心してご利用いただける環境を整備することができました。しかし、感染が発生した場合の対応に関しては、課題もありました。

3、達成できなかったこと

- ・感染症予防の面から、外出等の社会参加やボランティア、施設体験実習生の受け入れなどは、積極的に行うことができませんでした。
- ・家族の参観や懇親会など家族との交流を深める場は設けられず、電話での対応となりました。

指定生活介護事業所すてっぷ事業報告

はじめに

令和4年度は、定員20名・利用契約者23名でのスタートとなりました。4月から2名の方が新規利用となりましたが、6月に1名が退所。令和5年1月にも1名退所となり、令和4年度末の利用契約者数は、21名となっています。

1、利用実績

定 員 20名
 利用契約者 23名（4月～6月）
 22名（6月～1月）
 21名（2月、3月）

(利用状況)

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	22	22	21	22	22	22	22	22	22	20	23	262
1日平均利用者数	22.5	22.6	22.5	21.4	21.5	21.5	21.6	21.5	21.5	21.3	20.4	20.5	21.6

(事業実施状況)

事業	実施日	対象者	事業	実施日	対象者
運動会	9月20日	全員	新年会	1月17日	全員
秋祭り	10月15日	全員	誕生会	毎月	全員
クリスマス会	12月20日	全員			

2、概ね達成できたもの

<日常生活支援>

- ・運動公園などでの散歩や雨天時の室内運動などを実施して、健康面、身体機能の維持に努めました。

<作業>

- ・個々の能力を考慮し利用者にあった作業内容、工程の提供を行うことができました。

<余暇活動・社会参加>

- ・栃障協による永野川公園清掃への参加を通じて、利用者一人ひとりが地域で生活している事を感じられる活動を実施しました。
- ・余暇活動やクラブ活動を通じ、皆で何かに取り組む事や笑顔になる事で、利用者の関心が高まる企画を考えました。

<身体拘束の適正化>

- ・年度当初、トイレ利用時の転倒防止の為、体をベルトで固定する利用者が1名おり、身体拘束に該当しました。法人では、令和4年度から身体拘束適正化委員会を立ち上げ、ベルトでの拘束ではなく、可能な限り職員が見守りを行なうことにしました。検討会議を開催し、徐々に見守りでの対応を増やせるようになりました。当該利用者は1月に退所となりましたが、最後まで安全にトイレの利用が出来ました。

3、達成できなかった事

<日常生活支援>

- ・年齢や体力に応じた細やかな機能訓練の提供が出来ませんでした。体力や身体機能に応じて3つのグループに分かれて散歩を行いました。20代30代の比較的若い方に十分な運動量を提供することが出来ませんでした。そのため、午後も散歩に出る機会を設けましたが、計画した日に散歩に出られないこともありました。

<作業>

- ・利用者全員が何らかの作業には取り組んでいますが、作業活動が本人のニーズに合っていない方もいました。そのような方の作業内容の工夫、作業に代わる他の活動の検討・提供が充分に出来ませんでした。

<余暇活動・社会参加>

- ・昨年まで行っていた施設近隣のゴミ拾いなどの社会貢献活動が、充分に出来ませんでした。

指定就労継続支援B型事業所めぐみ事業報告

はじめに

令和4年度は、利用者契約者25名でスタートしました。その後、12月に1名の新規利用があり、令和5年3月31日現在、利用契約者26名となりました。

おれっちより5名(ぼくんち3名・にゃんきち2名)、ホームみどりより4名、自宅より17名が、通所利用されています。

1、利用実績

定 員 20名

利用者 26名

(利用状況)

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	22	22	22	21	22	22	22	19	22	22	20	23	259
平均1日利用者数	20.9	21.3	22.4	22.0	20.2	22.0	20.9	20.1	19.7	20.9	20.6	21.6	21.0

新型コロナウイルス感染症に伴い、11月は3日間の営業休止となりました。

(事業実施状況)

事業	実施日	参加者	事業	実施日	参加者
七夕会	7月5日	23名	もちつき会	12月28日	19名
納涼祭(夏まつり)	8月12日	21名	新年会	1月9日	19名
お月見会	9月6日	19名	ひな祭り	3月7日	25名
運動会	10月21日	22名			

【作業活動について】

令和4年度年間工賃支給額は3,544,681円で、1か月の平均工賃額は12,056円でした。令和4年度の月の平均工賃額10,044円に対して120%となり、平均工賃額は増額しています。新たな作業としては、5月よりアパート建物及び外構の清掃並びにアパート敷地内の除草作業(株式会社 マザーハウス)を受注しました。

【概ね達成できたこと】

- ・契約利用者を増やすために、市内外の特別支援学校の実習生の受け入れや、見学者の受け入れを感染予防をしながら積極的に実施しました。
- ・事業所単位の行事・イベントは、感染予防対策をしながら実施することができました。
- ・災害時避難確保計画に基づき、引き渡し訓練、避難訓練を実施しました。

主な取引先及び年間収益一覧

取引先、作業名	年間収益 (円)	備考・作業内容など	前年比 (%)
(下請け軽作業) 中央パッケージ	1,046,107	ゼブラ製品のパッケージ詰め、箱詰め	93.6%
光栄電機	42,217	断熱シール貼り	58.0%
トップ工業	126,650	金属のカット折り作業 (車のマフラーに使用)	125.5%
アータマ	196,824	スポイトバリ取り作業	188.7%
松下通商	104,930	(令和5年1月終了) 自動車部品 (スポンジの枠外し)	65.6%
栃木法人会	120,071	定期発行物 (法人便り) の袋詰め、発送	117.7%
籠谷いちご園	36,900	いちごの箱折り作業	117.7%
尾花いちご園	33,000	いちごの箱折り作業	98.1%
アイ・シイ・エス	602,275	ろう材前のリング入れ	前年度無し
(委託事業) 栃木清掃サービス	118,435	資源回収 (毎月第3週火水木) 新聞・段ボール、アルミ缶、雑誌等	172.6%
関口商事	864,019	資源回収 (約17社) 新聞、段ボール、アルミ缶、雑誌等	133.2%
マザーハウス	88,000	小山市アパート清掃	前年度無し
(自主製品) 農産物販売	89,850	ブルーベリー、黒大豆等の栽培	89.1%
洋裁	2,000	手作りマスク等	11.2%

※主な取引先および作業のみ記載

指定短期入所事業所あゆみ事業報告

はじめに

令和4年度は、市内外含め30名以上の方にご利用していただくことができました。また、コロナ禍ではありましたが、感染状況を見ながら感染対策をより徹底することで、施設見学やご利用に繋げることができました。突発的な受け入れなども調整をして、可能な限りご要望に沿ったサービスの提供をすることができました。

なお、施設内での感染や職員体制により、一定期間、事業休止をせざるを得ない時期もありました。今後は感染対策を徹底し安心して過ごせる環境でサービスを提供し、365日の営業を目指します。また、万が一感染者が出た場合は、BCPに基づき感染を最小限に留められるようにします。

現在、栃木特別支援学校の寄宿舎閉舎が計画されていることから、短期入所の問い合わせが増えています。今後、ご家族や学校関係者、相談支援専門員のニーズに対して、どのように対応できるか、他事業所とも連携しながら対応を検討します。

1、利用実績

延べ利用者数 1, 585人 (令和3年度 1, 302人)

一日平均利用者数 2. 96人 (" 2. 80人)

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
延利用者数	124	129	142	133	152	134	156	110	141	135	81	148
1日平均利用者数	2.8	2.8	3.3	2.9	3.2	3.0	3.5	2.6	3.4	3.0	1.8	3.0

2、具体的な活動内容

- ・利用者及びご家族の利用目的を聴きとり、可能な限り希望に沿ったサービスを提供しました。
- ・新型コロナウイルス感染により、営業を休止せざるを得ない日もありましたが、適切な対応により施設内クラスターになることは、ありませんでした。
- ・ご家族の不調などの緊急時に優先的に利用していただけるよう調整しました。
- ・快適に過ごしていただけるよう、定期的に居室の清掃や季節に応じた寝具の提供を行いました。
- ・栃木市くらしだいじネット（緊急短期入所）の受入れに協力しました。
- ・感染対策として、日々の清掃に加え施設内の消毒を徹底しました。利用者及び職員の検温を1日2回行うことで不調や変化に直ぐに気が付けるようにしました。食事や活動の場所に、飛沫防止ボードの設置をすることで安心して過ごせるように整備しました。

指定居宅介護等事業所さんぽ道事業報告

はじめに

令和4年度は、新型コロナの影響による利用者の利用控えなどがあり、利用が減少する時期もありましたが、現在はコロナ禍前に戻りつつあります。また、新規の利用希望などもありますが、ヘルパーの確保が難しいため、対応が可能な方から受け入れを行っている状況です。

職員体制は、ヘルパー不足を解消することが出来ないため、サービス提供責任者1名、常勤ヘルパー1名、登録ヘルパー4名で業務を行いました。令和5年度はサービス提供責任者1名、常勤ヘルパー2名、登録ヘルパー3名体制と常勤ヘルパーを増員しますので、新たな利用を増やします。また、研修、資格取得などヘルパーのスキルを高めることでも、利用増につなげていきます。

1、利用者へのサービス提供について

- ・保護者や各関係機関、相談支援員とも連携しながら、利用者の要望に則したサービスを提供しました。ヘルパーの人数や希望者の重複などにより、利用希望に対応出来ないこともありましたが、時間や曜日の調整をしながら極力希望に応じるようにしました。
- ・利用者の利用状況や身体状況に応じて、サービスの提供を行いました。その都度対応が必要な場面もありましたが、ヘルパーの適切な判断によりサービスを利用していただけました。

2、ヘルパー資質向上について

- ・コロナ禍のため、事業所内での勉強会や研修などへの参加が思うように行えませんでした。必要な情報共有のために、資料の配布や各自で勉強できるよう情報を提供し、資質向上に努めました。
- ・外部研修などへの参加の機会をヘルパーに提供することが出来ませんでした。

指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ホームみどり事業報告

はじめに

今年度は、26名の利用者がホームみどりを利用しました。そのうち2名が7月1日、1月27日に退所され、別事業所に移られました。

利用者の重度・高齢化が進んでおり、毎日の体調管理はもちろんですが、身体的な機能低下もあり転倒などの怪我への配慮も必要になっています。

現在、24名の利用となっていますが、次年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策を実施しながら、新規利用を進めていきます。

1、利用実績

定 員 30名

契約利用者 26名（4～7月）、25名（8～12月）、24名（1～3月）

延べ利用者数 9,185人

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
延利用者数	780	806	780	807	775	750	775	750	775	771	672	744
1日平均利用者数	26	26	26	26	25	25	25	25	25	24.8	24	24

2、日常生活支援について

利用者の状況に応じて、食事、排泄など必要な支援を適宜提供してきました。入浴に関しては人員不足等により、以前のような毎日の入浴支援の提供が困難になってしまいました。

3、健康面について

毎日の検温、体調観察などを行い、日中活動事業所とも協力することで利用者の健康管理を行ってきました。定期通院や体調不良時には看護師、居宅介護事業所とも連携を図り、通院・日中の対応などを行ってきました。

日常的に手指の消毒や手洗いなどを励行し、風邪などの予防に努めました。利用者の高齢化・身体機能の低下により、転倒等の事故の発生がありました。

4、余暇活動、外出支援、社会参加について

居宅介護事業所と連携し、利用者の状況や希望に応じた移動支援の内容を提供出来るように努めました。

5、日中事業所との連携について

日中活動事業所として利用している生活介護事業所すてっぷや就労系事業所めぐみと常に連携を取り、相互に協力しながら利用者の生活支援を行うことが出来ました。

6、防災、避難訓練について

あゆみ園の防災規定に基づき、避難、通報訓練を実施してきました。しかし、天候によっては避難訓練を実施出来ず、通報訓練のみになることもありました。

指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ホームおれっち事業報告

はじめに

ホームおれっちは、ぼくんち・にゃんきち各6名の計12名の定員で、年度当初は、ぼくんち6名・にゃんきち5名の利用でした。5月にぼくんち1名・にゃんきち1名の利用者の退所があった為、年度末の時点でぼくんち5名・にゃんきち4名の計9名の利用状況です。

1、利用実績

ホームにゃんきち 定員 女性6名

利用者 5名（4～5月）、4名（6月～3月）

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
1日平均利用者数	4.2	4.2	4.2	4	3.6	3.8	3.9	3.7	3.9	3.9	3.9	3.8

ホームぼくんち 定員 男性6名

利用者 6名（4～5月）、5名（6月～3月）

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
1日平均利用者数	4.4	4.3	4.6	4.6	4.3	4.3	4.4	4.1	4.3	4.3	4.3	4.6

2、概ね達成できたもの

- ・「自分で行うこと」を基本に支援し、衣食住の様々な場面において個々の課題に応じた支援をしました。また、健康的なバランスのとれた食事の提供を行いました。
- ・健康面については通院した様子を各関係機関、日中活動事業所と連携を取り、本人の状態や今後についても連絡調整ができ、概ね達成する事ができました。
- ・サポート体制の整備については、コロナの状況により月1回の世話人会議を行う事が困難であった為、文書による情報提供や世話人との連絡調整をおこないました。
- ・余暇時間については、個々の興味・関心を模索し生活スタイルに合わせ過ごせる場面を提供できました。
- ・日中活動事業所、職場、相談支援事業所等と連携を図り生活支援を提供しました。

3、達成出来なかったこと

- ・移動支援等を利用した社会参加の機会を設ける事はできましたが、新型コロナの影響で利用者のニーズにあったサービスを提供は充分ではありませんでした。
- ・ホームぼくんち・にゃんきちの定員不足解消の為に各関係機関との連携を図り体験利用・実習や見学受入れを実施しましたが、利用者を増やせませんでした。引き続き利用者を増やすように努めます。

指定特定・一般・障害児相談支援事業所ぴあん事業報告

1、指定特定相談支援事業

本事業は、障害福祉サービスを利用する方には必要であるサービス等利用計画の作成を主としたものです。令和5年3月31日現在の計画作成者数は約190名で、あゆみ園の利用者に限らず、他法人や他市町在住の障害者支援にも携わっています。また、他事業所では受けられないような困難ケースも対応していることから当事業所の信頼を得ています。ただ、対応件数の増加によりきめの細かいケースワークが難しくなっている現状が続いており、市とも協議をしながら支援の緊急度によって対応しています。

2、指定一般相談支援事業

長期入院者や入所者の地域移行や地域定着の相談支援を主とした本事業は、国の施策も計画的な退所や退院をすすめているためそのニーズは高まっています。

今年度はコロナウイルスによる面会等の制限が緩和されてきましたが、対応件数は1件でした。ただ、統計的にみると長期入院者の退院数は少しずつ増えており、医療従事者による退院支援も増えていることが分かります。まだまだ障害福祉計画でうたわれている目標退院者数には及びませんが、引き続き県内の精神科病院や入所施設との関係を円滑・強化し、希望に応じたサービス提供がスムーズにできるよう体制を整備しています。

3、指定障害児相談支援事業

本事業は、障害児の健やかな発達のために家族や関係機関との連携をもとに、就学や就職などライフステージに合った支援をすすめることができるよう、日々の基本相談を大切に、信頼関係を深めていくことを心掛けています。令和5年3月31日現在の登録児童は約80名ですが、特定相談同様、希望者はできるかぎり受け付けているため、市内外の障害児支援事業所や関係機関からのニーズは高まっています。「サービス利用するため」だけの相談支援ではなく、療育や家族支援の視点も備えた多角的な相談支援をすすめていくことができるよう、今年度も法人内外の事業所と連携をしながら勉強会などの機会をつくってきました。それにより、相互に支援の質を向上することができたと共に、それぞれの事業所の特性を活かした相談支援をすすめることができています。

4、その他

- ・本事業は3名の相談支援専門員が担当しており、市自立支援協議会の運営においても中心的に関わっています。そして、その内2名が、市の中核的存在として相談支援体制の整備や人材育成に携わる主任相談支援専門員の資格を有することから、引き続き市と協力体制を築きながら、市の障害福祉や地域福祉の発展に向けての取り組みをすすめていく必要があります。
- ・栃木市にかぎらず全国的に、サービス利用希望者数に相談支援専門員の担当件数が追い付かないといった課題があります。この課題は、各事業所の経営や運営の考え方に差異があることや、国が予想していた状況と現状に乖離があることなど様々な理由が考えられます。今後は、市とこの課題にどのように向き合い、解決していくのか、具体的かつ現実的な計画をすすめていく必要があります。
- ・相談支援専門員を養成する県の法定研修の運営にも中核となって関わってきました。その他、各種研修に積極的に参加すると共に、行政や関係団体からの講師依頼の業務も多く受けています。

指定放課後等デイサービス事業所かぜのこ・児童発達支援事業所ふわり事業報告

はじめに

児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型事業所として開所し5年目となりました。利用児数は年々増えていますが、1日当たりの利用児数は定員10名を下回っています。

原因としては、突発的な体調不良による欠席や新型コロナウイルス感染症の発生・予防の為に、臨時的に休業したことなどが上げられます。また、コロナ禍の下で保護者や他事業所、行政との関係構築が十分でなかったこともあり、安定した事業運営には至りませんでした。

1、利用実績

(月別契約利用者)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
ふわり	14	14	14	14	14	14	14	15	17	17	17	17	15.0
かぜのこ	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19	19	20	18.5
合計	32	32	32	32	32	32	33	34	36	36	36	37	33.6

(月別利用状況) ※かぜのこ、ふわり合計

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
営業日数	20	21	22	21	21	22	21	22	20	20	20	22	252
1日平均利用者数	8.7	8.5	8.8	8.8	7.1	7.5	8.6	7.1	8.9	9.1	9.1	9.2	8.4

(事業実施状況)

事業	実施日	参加人数	事業	実施日	参加人数
お花見会	4月4日 ～8日	当日利用児	ハロウィン	10月24日 ～31日	当日利用児
七夕会	7月4日 ～8日	当日利用児	クリスマス会	12月19日 ～23日	当日利用児
かぜのこまつり①	9月19日	希望者(3名)	初詣	1月4日 ～6日	当日利用児
かぜのこまつり②	9月23日	希望者(3名)	節分会	1月30日 ～2月3日	当日利用児
ミニ運動会	10月3日 ～7日	当日利用児	誕生会	誕生者がいる月	当日利用児

就学説明会	6月9日
火災避難訓練	毎月
災害時引き渡し訓練	8月9日～9月13日
ふわりまつり	11月23日(感染症発生のため中止)

2、概ね達成できたもの

- ・新型コロナの感染状況を踏まえ、時期の変更や規模を縮小することで、行事やイベントを実施しました。
- ・週ごとに課題内容を変更することでの、日常生活に必要なスキルの維持・向上ための様々な事を経験する機会を提供しました。
- ・実習生や見学者を積極的に受け入れると共に、職員の他事業所見学などで風通しの良い施設作りと職員の勉強の機会を確保しました。
- ・利用児に関する会議の進行を児童発達支援管理責任者のほか、全ての職員に行ってもらうことでスキルアップに繋がりました。
- ・災害、火災を想定した避難訓練及び引き渡し訓練を実施しました。

3、達成に至らなかったこと

- ・保護者支援として個別又は集団での面談や保護者同士の交流の場を設けることができませんでした。
- ・ペアレントトレーニング（障がいを持つ、またその疑いのある子どものご家族を対象にしたプログラム）実施のための研修を実施することができませんでした。
- ・積極的な施設外活動（療育）と調理実習が実施できませんでした。
- ・他事業所、保育園、幼稚園、相談支援、行政など関係機関との連携が、新型コロナの影響もあり充分にはできませんでした。

4、今後の課題

- ・職員が自信を持って療育・支援を提供できるよう研修や事業所内勉強会など、継続的な知識、技術のスキルアップが必要です。
- ・保護者の育児、療育に関する困りごとに対し話を伺うことはできていますが、利用者個々の状況に応じた適切なアドバイスまでは至っていません。今後は、保護者の安心や信頼を得るために理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などの専門職員の配置が望ましいです。
- ・ホームページ、パンフレットによる積極的な広報活動が必要です。

日中一時支援事業所あゆみ事業報告

はじめに

日中一時支援事業あゆみは、ご利用される方々の安全を第一と考えると共に、可能な限りご本人やご家族のニーズに合わせた受入れを行ってきました。また利用者一人ひとりの障害特性や利用者間の相性などを考慮した上で、利用スケジュールを調整し、トラブルや怪我の予防にも繋げてきました。

緊急的な依頼についても、可能な限り調整・受入れを行うことで、ご家族との信頼関係を築いています。今後は利用に繋がるようなサービスを提供していきたいと考えています。

1、利用実績

延利用者数 3, 178人 (前年度比 +399人)

単位：日、人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
利用者数	267	269	268	292	299	256	277	218	266	266	198	302
1日平均利用者数	8.9	8.67	8.93	9.41	9.64	8.53	8.93	7.26	8.58	8.58	7.07	9.74

2、活動内容と達成できたもの

- ・可能な限り利用者及び家族の要望に沿ったサービス提供を行いました。
- ・感染対策のご協力を了承していただいた上で、施設の見学を行うことができました。
- ・モニタリングや面談等はできませんでしたが、電話による聴き取りをすることで情報共有を図ることができました。
- ・担当者会議に参加することで、保護者や各関係機関との連携、情報共有を図りより良いサービスの提供に努めました。
- ・コロナ禍の為、ボランティアや実習生及びアルバイトの積極的な受け入れができませんでした。
- ・利用者、職員の検温、施設内及び送迎車両の消毒、飛沫防止ボードの設置など感染予防を図り、安心してご利用いただけるように環境整備をしました。

3、今後の課題と目標

利用者及びご家族が安心してご利用できるように、引き続き感染対策に努めます。週末のご利用においては、他事業所の感染対策に対する方針も少しずつ緩和されてきている為、今までご利用を控えていた方々の受入れを積極的に調整していきます。また、平日の日中一時の需要も高まっている為、ニーズに応えながらも日中一時にとどまらず、他のサービスにもお繋ぎし、あゆみ園で長く広く利用していただけるような体制や環境を整備することが課題と思われれます。